

「虫を知ろう！」の展覧会でカイコの幼虫を
のぞき込む児童ら



広がる 好奇心

思いを俳句にしよう
西条・楠河小で
ライブ形式教室

見て学ぶ虫の生態

松山・荏原小 専門家が説明

松山市在住の俳人夏を教える教室が4日、井いつきさんが小学生西条市河原津の楠河に俳句作りの楽しさ小学校(長井千代子校)児童に文化活動のす

長、124人)で開かれた。児童に文化活動のす

6月4日〜7月4日を「ムシナシ月間」として、毎年啓発活動を行っている。

ゴキブリなどの害虫 シンなど有害生物につ
をはじめとする虫の生 いて子どもたちを知っ
態や、カラス、ハクビ てもらおうと、松山市
ゴキブリなどの害虫 シンなど有害生物につ
をはじめとする虫の生 いて子どもたちを知っ
態や、カラス、ハクビ てもらおうと、松山市

東方町の荏原小学校(藤原利親校長、497人)で4日、「虫を知ろう!」と題した展覧会が開かれた。児童らは興味津々の様子で、普段見慣れない生き物に見入っていた。県内の感染予防・害虫駆除業者12社でつくる県ペストコントロール協会(伊藤泰太郎会長)が開いた。ペストコントロールとは、害虫からの被害を防ぐという意味。同協会は、

注目を集めたのは約400匹の生きているカイコの幼虫。虫眼鏡でのぞき込み、葉を食べる様子を観察していた3年の田中萌さん(8)は「不思議な生き物。足が何本もある」と驚いていた。